



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月10日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岸 和宏  
問合せ先責任者 (役職名) IR・ガバナンス統括部長 (氏名) 久米 清隆 TEL 042-546-2305  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	103,474	13.9	5,624	45.6	5,812	45.1	3,169	27.7
2024年3月期第3四半期	90,844	2.5	3,862	433.9	4,007	228.5	2,480	-

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 6,223百万円 (△4.4%) 2024年3月期第3四半期 6,506百万円 (97.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	142.15	-
2024年3月期第3四半期	111.65	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	113,374	69,636	54.8	2,782.47
2024年3月期	102,747	64,319	56.5	2,606.90

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 62,128百万円 2024年3月期 58,004百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	10.00	-	15.00	25.00
2025年3月期	-	20.00	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	-	-	40.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	10.3	6,500	47.3	6,500	51.0	3,500	51.8	157.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	25,000,000株	2024年3月期	25,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	2,671,436株	2024年3月期	2,749,532株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	22,294,404株	2024年3月期3Q	22,221,109株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)における世界経済は、紛争、政権交代等の地政学リスクの高まりが継続する状況下、日本の政策金利は引上げられる一方、先進国では断続的に利下げが行われ、為替相場は大きく変動し、中国経済の減速懸念、異常気象等、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが注力する自動車関連市場では、電気自動車(EV)へのシフトが減速する等、市場全体でも自動車販売が伸び悩む中、当社グループは長年培ってきた車載向けスピーカの品質を強みとして、パートナー戦略にて車載関連ビジネスの受注を増やすことに注力しました。また、需要予測の精度を高め、最適な生産体制と在庫量の保持に努め、原価改善施策も継続的に推進しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は103,474百万円(前年同期比13.9%増)、損益面では、営業利益が5,624百万円(前年同期比45.6%増)、経常利益が5,812百万円(前年同期比45.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が3,169百万円(前年同期比27.7%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### (スピーカ事業)

前期に発生した一部顧客における在庫調整が無くなり、また中国において一部の自動車メーカー向けのスピーカ販売が好調だったこと等から、売上高は85,473百万円(前年同期比17.7%増)となりました。損益面では、利益率の高いスピーカ販売が増加したことおよび継続的な原価改善策の結果、営業利益は5,109百万円(前年同期比42.5%増)となりました。

#### (モバイルオーディオ事業)

イヤホン、イヤホンドライバ等が計画通りの出荷となった一方、民生用アクチュエータの販売減少等により、売上高は10,454百万円(前年同期比8.9%減)となりました。一方、損益面では、利益率の高い製品の販売が増加したこと等から、営業利益は703百万円(前年同期比18.7%増)となりました。

#### (その他事業)

小型音響部品事業、「フォステクス」ブランドの製品を含むその他事業は、接近通報音スピーカ等の販売が堅調だったことから、売上高は7,546百万円(前年同期比12.3%増)となりました。一方、損益面では、前期から取り組んでいる構造改革の効果により第3四半期から黒字に転じるも、構造改革にて第2四半期までに実施した在庫処理等の影響により、188百万円の営業損失(前年同期は営業損失315百万円)となりました。

(注) 上記セグメント別の売上高は、セグメント間取引消去後の数値で記載しています。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に売掛金と現金及び預金の増加により前連結会計年度末に比べ10,626百万円増加して113,374百万円となりました。負債は、主に買掛金の増加により前連結会計年度末に比べ5,309百万円増加して43,738百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金と為替換算調整勘定の増加により前連結会計年度末に比べ5,316百万円増加して69,636百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比1.7ポイント減の54.8%となりました。

#### (キャッシュ・フローについて)

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより20,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,400百万円増加しました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、仕入債務の増加等により8,168百万円となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により2,790百万円となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、借入金の減少等により2,298百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、通期業績予想に変更はありません。

配当予想については、最近の業績動向に鑑み、2024年11月11日の「2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表しました期末配当予想を修正しました。詳細につきましては、本日別途開示しています「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,216	23,811
受取手形及び売掛金	24,934	29,877
電子記録債権	865	695
有価証券	649	529
製品	18,357	19,702
原材料	7,908	7,269
仕掛品	1,539	1,430
貯蔵品	140	191
未収入金	1,673	2,039
前渡金	367	1,497
その他	2,381	2,255
貸倒引当金	△109	△129
流動資産合計	78,925	89,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,091	7,741
機械装置及び運搬具(純額)	4,557	5,101
工具、器具及び備品(純額)	1,887	1,974
土地	3,404	3,437
建設仮勘定	1,437	1,482
有形固定資産合計	19,377	19,737
無形固定資産		
ソフトウェア	189	265
その他	147	141
無形固定資産合計	336	407
投資その他の資産		
投資有価証券	2,162	2,357
長期前払費用	82	77
退職給付に係る資産	1,344	1,215
繰延税金資産	306	218
その他	212	189
投資その他の資産合計	4,108	4,059
固定資産合計	23,822	24,204
資産合計	102,747	113,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,169	17,481
短期借入金	10,571	10,623
1年内返済予定の長期借入金	775	775
未払金	3,135	2,998
リース債務	483	507
未払法人税等	762	901
未払費用	2,288	2,267
賞与引当金	537	1,057
その他	1,175	1,230
流動負債合計	31,899	37,842
固定負債		
長期借入金	3,781	3,200
繰延税金負債	681	934
リース債務	1,326	1,063
退職給付に係る負債	108	117
役員退職慰労引当金	27	12
株式給付引当金	137	80
その他	466	487
固定負債合計	6,529	5,895
負債合計	38,428	43,738
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	6,896	6,896
利益剰余金	36,364	38,749
自己株式	△4,042	△3,937
株主資本合計	45,989	48,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	803	945
為替換算調整勘定	11,345	12,830
退職給付に係る調整累計額	△134	△126
その他の包括利益累計額合計	12,014	13,648
非支配株主持分	6,314	7,507
純資産合計	64,319	69,636
負債純資産合計	102,747	113,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	90,844	103,474
売上原価	76,883	85,619
売上総利益	13,960	17,854
販売費及び一般管理費	10,098	12,230
営業利益	3,862	5,624
営業外収益		
受取利息	115	211
受取配当金	37	44
補助金収入	4	—
為替差益	481	419
雑収入	212	268
営業外収益合計	852	942
営業外費用		
支払利息	543	499
雑損失	163	255
営業外費用合計	707	754
経常利益	4,007	5,812
特別利益		
固定資産売却益	701	—
資産除去債務戻入益	133	—
特別利益合計	835	—
特別損失		
経済補償金	488	—
特別損失合計	488	—
税金等調整前四半期純利益	4,354	5,812
法人税、住民税及び事業税	1,003	1,383
過年度法人税等	—	△167
法人税等調整額	△13	66
法人税等合計	989	1,283
四半期純利益	3,364	4,529
非支配株主に帰属する四半期純利益	884	1,360
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,480	3,169

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,364	4,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	285	142
為替換算調整勘定	2,857	1,539
退職給付に係る調整額	△2	11
その他の包括利益合計	3,141	1,693
四半期包括利益	6,506	6,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,374	4,803
非支配株主に係る四半期包括利益	1,131	1,419

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,354	5,812
減価償却費	2,353	2,396
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△54	127
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2	△1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	△15
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△46	14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	110	520
補助金収入	△4	—
固定資産売却益	△701	—
経済補償金	488	—
資産除去債務戻入益	△133	—
受取利息及び受取配当金	△153	△255
支払利息	543	499
為替差損益 (△は益)	274	132
売上債権の増減額 (△は増加)	1,949	△4,580
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,175	△137
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,799	5,255
未収入金の増減額 (△は増加)	△821	△382
未払金の増減額 (△は減少)	△138	△211
前渡金の増減額 (△は増加)	2,725	△1,092
その他	△204	1,378
小計	14,520	9,459
利息及び配当金の受取額	153	255
利息の支払額	△543	△499
補助金の受取額	4	—
経済補償金の支払額	△488	—
法人税等の支払額	△1,206	△1,215
法人税等の還付額	—	167
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,440	8,168
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△207	△542
有価証券の償還による収入	—	660
投資有価証券の取得による支出	△149	—
有形固定資産の取得による支出	△3,932	△2,617
無形固定資産の取得による支出	△43	△120
有形固定資産の売却による収入	330	—
長期前払費用の取得による支出	△128	△108
定期預金の預入による支出	—	△1,659
定期預金の払戻による収入	—	1,611
その他	16	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,113	△2,790
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,342	△413
長期借入れによる収入	3,750	—
長期借入金の返済による支出	△300	△581
配当金の支払額	△447	△784
非支配株主への配当金の支払額	△92	△169
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△254	△349
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,687	△2,298
現金及び現金同等物に係る換算差額	581	321
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,221	3,400
現金及び現金同等物の期首残高	13,646	17,034
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,868	20,434

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	72,649	11,477	6,717	90,844	—	90,844
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,422	2,422	△2,422	—
計	72,649	11,477	9,140	93,266	△2,422	90,844
セグメント利益又は損失 (△)	3,585	592	△315	3,862	—	3,862

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	85,473	10,454	7,546	103,474	—	103,474
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3,019	3,019	△3,019	—
計	85,473	10,454	10,565	106,493	△3,019	103,474
セグメント利益又は損失 (△)	5,109	703	△188	5,624	—	5,624

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。